

気仙沼高等学校 SGH プログラムのフィールドワークの受入れを行いました(2018/7/18)

テーマ：スーパーグローバルハイスクール，防災教育
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

7月18日（水）に，宮城県気仙沼高等学校から2年生3名，3年生1名が当研究所を訪問されました。同校は，スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校の一つになっています。SGHは，文部科学省の事業で，高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して，生徒の社会課題に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としているものです。気仙沼高等学校は，「海を素材とするグローバルリテラシー育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」というプログラム名で，SGH 事業に採択されています。今回は，SGH プログラムで実施されている「課題研究Ⅰ」の一環での訪問になります。「課題研究Ⅰ」は，同校生徒が個人で，任意のテーマについて研究・発表を行うものです。今回の訪問は，東北大学災害科学国際研究所ほか，宮城教育大学や東北工業大学などの大学を訪れ，各個人のテーマの専門の研究者に，質問や疑問を出したり，情報収集を行ったりする「フィールドワーク」として実施されたものになります。

当研究所では，佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が，同プログラムのアドバイザーになっています。当日は，4名の生徒さんがおとずれ，大学生顔負けのプレゼンテーションや質疑応答を行っていました。うち訪れた3年生は3年連続で来所して，昨年度までの成果を論文形式でまとめ，その結果についても報告してくれました。

- テーマ①「限られた土地で交通がスムーズな道路を作るためには」
- テーマ②「市の情報を市民に伝えるための効果的な伝達方法は何か」
- テーマ③「風化に抗う～震災を体験した私から～」
- テーマ④「みなとまち大航海プロジェクトー観光と防災を組み合わせるー」



面談の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）